

展示リニューアルの整備範囲

- 主に展示活動に係る以下の諸室を整備範囲とします。

安土城・信長・戦国ゾーン

- 第1常設展示室
- 第2常設展示室
- 望楼ホール

近江風土記の丘ガイダンスゾーン

- エントランスホール
→近江風土記の丘のガイダンスや県全体の周遊を高める情報発信機能を強化

埋蔵文化財ゾーン

- 回廊展示（活用促進）

体験活用ゾーン

- 中庭・屋外（活用促進）



博物館を基点とした回遊性の向上を目指して

- リニューアルでは、本館だけでなく近江風土記の丘の史跡や近隣の水郷・八幡地区、さらには県内の城跡や観光施設への回遊につながるしかけを検討します。
- 文化振興・観光振興のさらなる促進を図り、滋賀県と安土エリアのさらなるブランド力向上を目指します。



事業スケジュール（予定）

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
全体計画	第1常設展示室リニューアル（エントランスホール・望楼ホール含む）					
本基本計画	各種調整・調査等	実施設計	工事施工（1期）	枯らし期間・開館準備	第1常設展示室オープン ・大阪・関西万博 ・国スポ・障スポ	・安土城築城450年祭

※第2常設展示室リニューアル（実施設計・工事・枯らし・開館準備・オープン）の時期は未定

令和3年3月 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1
TEL:077-528-4678 FAX:077-528-4956

博物館に関する情報はコチラ
<http://azuchi-museum.or.jp/>



滋賀県立安土城考古博物館 展示基本計画 概要版

1992（平成4）年の開館時より、近江風土記の丘を構成する4つの史跡を紹介する城と考古のテーマ博物館として多彩な活動を行ってきた本館ですが、入館者数の減少や設備・展示物の老朽化などの課題を受けて、リニューアルに向けた展示基本計画を策定しました。

リニューアルの背景

1 本館の課題と改善方針

「幻の安土城」復元プロジェクト（※）の中核施設としての機能強化が必要

- 利用者ニーズとのかい離 : 展示コンセプト・テーマの設定など
- 設備・展示の老朽化 : 展示物や手法の見直し、更新性への配慮など
- 公開承認施設の機能維持 : 空間環境・設備・展示ケースの改修など
- 利用者サービスの充実 : 多言語対応、オンラインコンテンツの充実など
- 回遊のしくみづくり : ガイダンス機能の充実、サインの設置など
- 集客性の向上 : 情報発信の取組強化、名称・愛称の見直しなど

現在、入館者数は1994（平成6）年の8.5万人をピークに減少傾向。近年は4万人前後に。

※「幻の安土城」復元プロジェクトとは、安土城の実像を解明し、それを目に見える形で復元することで、安土城の魅力をより多くの人々に実感してもらうことを目的として実施している事業です。

2 本館の強み

- 豊富な収蔵品 : 戦国・織豊期のコレクション、摠見寺の寄託品
- 歴史的な立地環境 : 戦国末・織豊期の近江の拠点城郭が付近に存在
- 豊富な展覧会実績 : 城と考古をテーマとして年4回開催、固定ファンあり

リニューアルによりめざす姿

安土城と信長・戦国をテーマとする唯一無二の博物館として、その情報・魅力を発信する

安土城・信長・戦国 魅力発信拠点

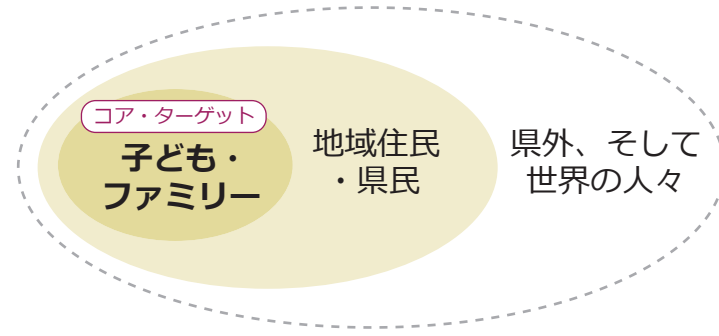
リニューアルのメリット

- 「幻の安土城」復元プロジェクトの中核施設としての機能強化
- 利用者ニーズとのかい離の解消
- 最新の研究成果を反映できるスペースの確保
- 新しい展示手法の導入 など

集客の向上・
入館者の増加

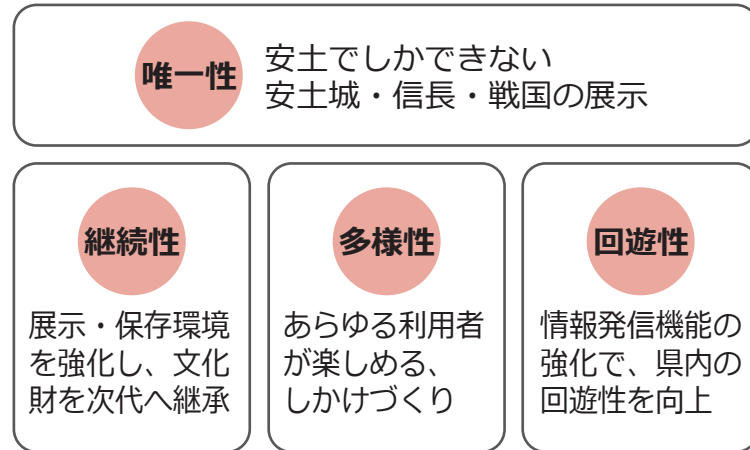
ターゲット

- 本館は社会教育施設であるため、オールターゲットの展示・活動を行います。新しい展示においては、特に「子ども・ファミリー」をコア・ターゲットとして位置づけ、集客力の向上を目指します。



展示リニューアル方針

- 「安土城・信長・戦国 魅力発信拠点」の実現に向けて、4つの基本方針を設定しました。
- **唯一性**：本館の強みを活かした展示リニューアルによる文化財の保護や公開活用
- **継続性**：公開承認施設としての機能保持・改善
- **多様性**：障害の有無や年齢・国籍に関わらず、訪れる全ての人々が楽しみ、学べる展示
- **回遊性**：本館を基点に、近江風土記の丘や県内の観光施設等への回遊につながるしかけ



期待される効果

- 展示リニューアルを一つの起爆剤として、滋賀県全体の文化振興および観光振興を図り、本県と安土エリアのさらなるブランド力向上を目指します。

滋賀県・安土エリアのブランド力向上



常設展示室のリニューアル内容について

1 展示方針

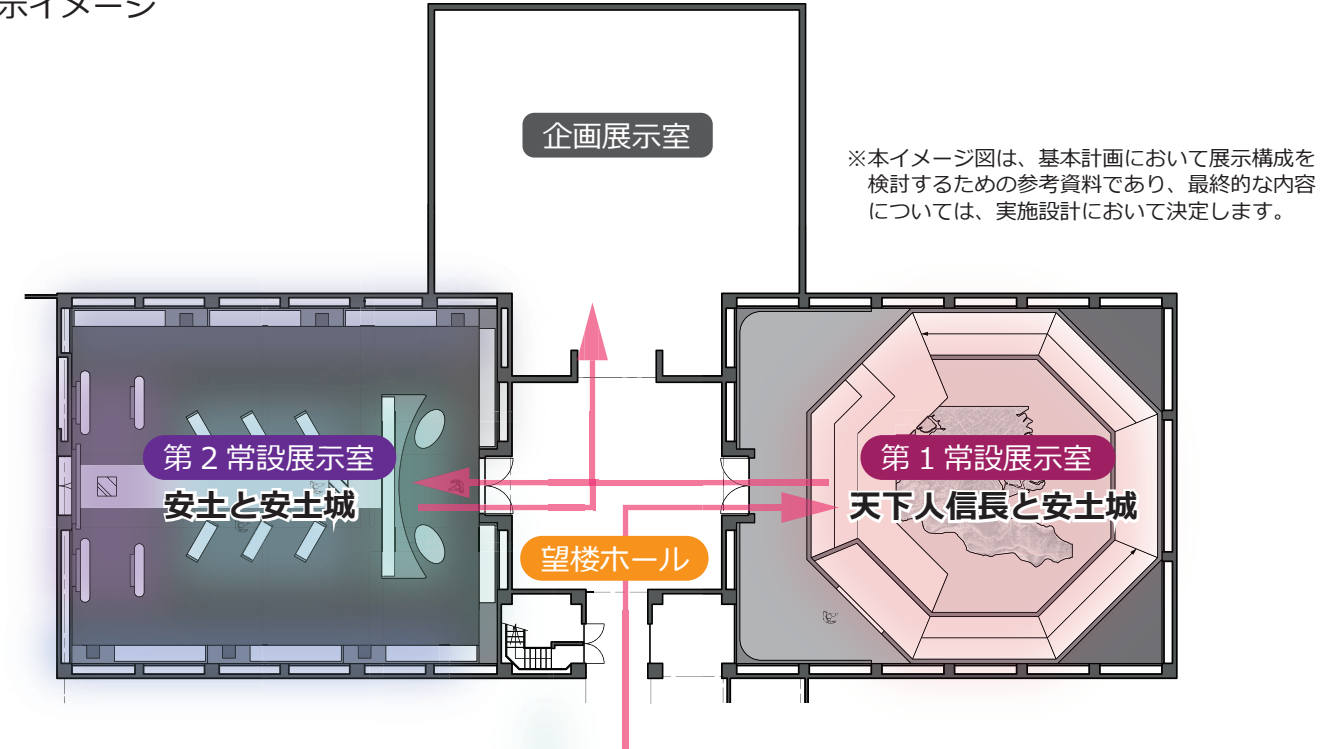
- 安土城・信長・戦国を誰にも分かりやすく、楽しく伝える展示
- 安土城跡のガイダンスおよび安土城登城の疑似体験となり得る展示
- 県民との連携および利用者の参画を促す展示
- いつ、何度来ても発見のある展示

2 展示コンセプト

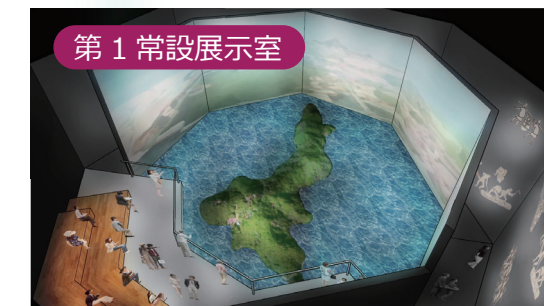
安土城・信長・戦国の世界を体感できる展示

- 「安土城・信長・戦国」をテーマに、第1常設展示室では安土城と信長に関するガイダンス展示を、第2常設展示室では社会背景や取り巻く環境など戦国という時代を多角的に紹介する展示を行います。
- 望楼ホールでは、両展示室との一体性を持たせるために、その吹き抜けの高さや印象的な形状を活かしたイメージ展示を展開します。

3 展示イメージ



映像では得られないものとして、貴重な実物資料や発掘資料等の展示を中心とした鑑賞空間を目指します。



展示室全体を没入感のあるガイダンスシアターとするなど、安土城や信長の世界を総合的に伝える、ダイナミックな映像空間を目指します。



第1・第2常設展示室や企画展示室への入口および経路地として、各展示室への期待感を高めることをねらいとします。